

消防の お知らせ



東京消防庁

公益財団法人 東京連合防火協会

No. 213 令和4. 3

3月1日～3月7日 春の火災予防運動

令和3年度 東京消防庁防火標語

もう一度 確認 安心 火の用心

作者 ^{すがのみか}菅野 珠加さん
江戸川区在住

住宅火災から高齢者を守りましょう！ ～初期消火の正しい知識を学ぶ～

住宅火災による死者のうち約7割以上が高齢者(65歳以上)です。その多くは、一人暮らしや高齢者のみの世帯で発生しています。火災の被害を少なくするためには、早く正しい初期消火が必要です。



初期消火のポイント

① 早く知らせる

- 「火事だー」と大きな声で周囲に知らせ協力を求める。
- どんな小さな火事でも必ず119番通報をする。

② 早く消す

- 消火器や風呂の水などを使って、火が小さいうちに消火する。



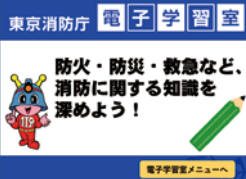
③ 早く避難する

- 消火器による消火の限界の目安は、炎が天井に達するまでです。危険と感じたらすぐに安全な場所に避難し消防隊の到着を待ちましょう。

消火器の使い方



- 煙や炎に惑わされず、姿勢を低くして火元に向けて薬剤を放射する。放射すると、白煙や粉末で視界が悪くなることもあるので、注意する。
- 消火不能になった場合を考えて、逃げ口を背面にして、消火する。



いざという時慌てずに冷静に行動できるよう、正しい知識や防災行動力を身につけることが大切です。

自宅や職場で文字や映像を見ながら、防火・防災・救急などに関する知識を電子学習室(東京消防庁HP)で学ぶことができます。

電子学習室へのアクセスはこちら➡



回 覧 (裏面もごらんください)

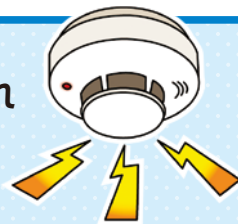


住宅火災の被害を防ぐために 住宅用防災機器を備えましょう!

住宅用火災警報器

住宅用火災警報器は、煙や熱を感知し警報音などで火災の発生を知らせてくれます。住宅火災の早期発見、被害の軽減に役立っています。

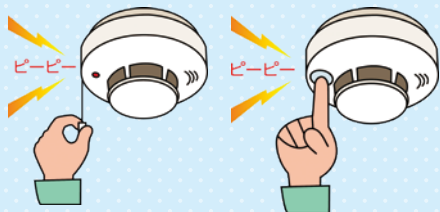
いざという時に作動するよう、定期的に点検をしましょう。



点検の方法

本体のボタンを押すか、付属のひもを引いて点検します。

正常な場合は、正常を知らせる音声や警報音が鳴ります。



- 音声や警報音が鳴らなかった場合は、次のことを確認しましょう。
 - ◇ 電池がきちんとセットされていますか?
 - ◇ 電池切れではないですか?
- 上記の確認をしても鳴らない場合は、住宅用火災警報器本体の故障が考えられます。

- 設置から10年を目安に本体の交換をしましょう。10年を過ぎているものは、電子部品の劣化や電池切れなどにより、火災を感知できなくなる恐れがあるため、ご自宅の住宅用火災警報器の設置年月を確認して、機器本体の交換をしましょう。

防災製品

火災から身を守るために身の回りの物を防災製品にしましょう。

- 防災製品は、火が接しても着火しにくく、燃え広がるのを防ぎます。防災製品には、寝具類、エプロン、パジャマなどがあります。



○は「防災製品ラベル」です。

消防や救急の知りたい情報をいつでも・どこでも・簡単に入手!
緊急時にも役に立つ **東京消防庁公式アプリ**
ダウンロードはこちら▶ [東京消防庁公式アプリ](#) **無料**

消火器

消火器を備えましょう。

- 消火器による初期消火は火災の被害の抑制に非常に効果的です。火を使う場所には、消火器を備えましょう。
- 消火器には、共同住宅等で設置が義務付けられている消火器のほか、一般住宅向けの小型で軽い住宅用消火器や片手でも使えるスプレー式のエアゾール式簡易消火具があります。
- いざという時のために、消火器の適切な使い方を身につけておきましょう。



<イラスト>

左から消火器、住宅用消火器、エアゾール式簡易消火具
※消火器には使用期限が定められています。

詳しくは東京消防庁ホームページへ

東京消防

検索



問合せ先



東京消防庁ホームページや
東京消防庁公式アプリへは
こちらからアクセスできます。